



# 上渚滑小だより

☆☆学校教育目標☆☆ 「めあてに向かって進んでチャレンジする子」  
☆☆よく考え進んで学習する子 ☆明るく思いやりのある子 ☆なほり強く仕事をやりぬく子 ☆体をきたえ命を大事にする子

## 今できることを

校長 泉 次郎

10月30日に学芸会も終わり、いよいよ冬を迎えます。先日は上渚滑にも初雪が降り、朝のふとんが恋しく、ストーブのありがたさを感じる季節となりました。あと1ヶ月と少して、今年も終わることを考えると時が経つのが早く感じられます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染状況はまだまだ予断を許しません。全国でも感染者数が増加に転じており、北海道の1日の感染者数も最多を更新し、先日1万人を超えました。第8派をむかえているとも言われており、各ご家庭においても感染予防に努めるとともにご心配していることと思います。

では、そのような状況の中で学校は何ができるのでしょうか？学校に来ている以上絶対に感染しない方法はありません。できるかぎり感染しないように“今できることをやる”ことしかできませんし、“今できること”に一生懸命取り組むことが大切だと考えています。手洗い、消毒、換気、マスク等々・・・当然、不安なことはありますが、自分にできることに集中するしかありません。

実は“今できることやる”ことに集中することは、感染症対策だけでなく、世の中の様々な場面で大切だと考えています。時には悲しいことや苦しいことなど大人も子どもも悩むことが多々あります。そんなときには、“今できることに”集中するように自分自身に言い聞かせています。

1990年代から2000年代にかけて、プロ野球の読売ジャイアンツ、メジャーリーグのニューヨークヤンキースで活躍された松井秀喜さんの言葉の中に、次のものがあります。

困難に直面したとき「今、自分にできることは何か」と自問します。悔やみ、落ち込むしかないのでしょうか。多くの場合、そんなことはありません。きっと前に進める選択肢があるはずです。

松井秀喜さんはメンタルのとても強い選手だったと思います。逆境も前向きにとらえて進んでいく精神力があったからこそ、すばらしい実績が残せたのだと思います。困難なことに出会っても、前向きにとらえて進めることができるように自分にも言い聞かせています。が、なかなか難しいですね。大人になっても日々迷いながら、生活しているのが現実です。

12月の足音が近づいています。新型コロナウイルス感染症だけでなく、ここ数年は流行していませんがインフルエンザが流行る季節となりました。保護者・地域の皆様には、健康に気をつけてお過ごしいただきたいと思います。

# 学芸会を開催しました！

10月30日（日）に学芸会を開催しました。感染防止のため、保護者だけを招いての開催でしたが、「気炎万丈～全校児童の声を届けて、あっと驚く学芸会を」のスローガンのもと練習に取り組み、伸び伸びと“あっと驚く学芸会”を御見せすることができました。児童1人1人の生き生きと表現した姿は、成長を感じることができました。保護者の皆様には温かい拍手をたくさんいただき、本当にありがとうございました。



## 交流授業をしています

11月9日（水）にオホーツク教育局の主査を助言者として、校内で交流授業を行いました。交流授業とは授業改善を目的に、他の先生や専門知識を持った方に実際に授業を観ていただき、指導・助言をもらい、今後の授業に生かしていくものです。11月30日には市内の先生方を招き、公開研究会を実施する予定です。



## 12月の予定

1日（木）委員会 ALT  
2日（金）移動図書  
5日（月）全校朝会  
7日（水）職員会議  
8日（木）クラブ ALT

12日（月）学期末清掃（～22日）  
15日（木）ALT  
16日（金）お祭り集会 移動図書  
21日（水）大掃除  
22日（木）ALT  
23日（金）2学期終業式  
24日（土）冬季休業（～1月17日）